

平成30年度事業計画書

1. 音楽録音事業に関する調査及び研究

- (1) 音楽録音事業の基盤となる音楽産業の現状及び将来性についての調査及び研究
 - ① 関連団体、音楽業界誌などの資料により、音楽制作の市場規模、動向等の調査を実施する。
 - ② 中国を主とする近隣アジア諸国からの日本国内に於ける制作需要への対応及び環境作りを検討する。
- (2) スタジオ使用の実態調査及び研究
 - ① 8月、法人正会員社及び準会員社の売上規模、時間単価の推移、稼働状況、スタジオ使用料、DAW関連の使用状況等及び問題点を把握するため、第17回音楽スタジオ事業経営実態調査を実施する。
- (3) 音楽録音事業従事者の雇用に関する調査及び研究
 - ① 3月、法人正会員社、準会員社を対象とし、年間の新規雇用実績について調査を実施する。
 - ② 3月、法人正会員社、準会員社を対象とし、担当業務別雇用形態について調査を実施する。

2. 音楽録音事業に関する研修会及びセミナー等の開催

- (1) スタジオ運営に関する研修会等の開催
 - ① 8月、「中国のレコーディング、スタジオ業界について」をテーマとする「第2回中華圏セミナー」を実施する。
 - ② 下期、「中国のクライアントとの取引」をテーマとする「第3回中華圏セミナー」を実施する。
 - ③ 上期、法人正会員スタジオ及び賛助会員専門学校担当者により、レコーディングエンジニア等の人材育成をテーマとする意見交換会を実施する。
 - ④ 11月、スタジオ運営に関する問題点を把握し、対応を図るために経営者・マネージャーが参加する第13回スタジオ意見交換会を実施する。
 - ⑤ 法人正会員社及び準会員社を対象とした情報交換会を定期開催し、様々な会員社間の情報及び検討課題についての共有化を図る。
- (2) スタジオ施設に関する見学会の開催
 - ① 賛助会員を主な参加対象者とする非会員のスタジオ見学会を3回実施する。
- (3) 異業種交流会の開催
 - ① 5月10日(木)、リハーサルスタジオ業界との第2回交流会を実施する。

3. 音楽録音事業に関する機材及び技術の調査並びに人材育成

- (1) エンジニアの質的向上を図るため、国内の専門家を講師とする研修会
 - ① 5月、アビッドテクノロジー株式会社または株式会社メディア・インテグレーションROCK ON PROセミナールームに於いて、「Pro Tools 2018.1勉強会」を予定する。
 - ② 6月17日(日)、東京国際フォーラムD棟5FホールD5に於いて、一般社団法人日本オーディオ協会が主催する「OTOTEN2018」に協力し、以下の内容により技術セミナーを実施する。
 - 内容：メインタイトル「ハイレゾの極みー録音を知らないでオーディオは語れないー」
 - I部：日本オーディオ協会制作「ハイレゾリファレンス音源試聴&録音現場の紹介」
 - 音源 192kHz/32bit

講師：高田 英男 日本音楽スタジオ協会会長

Ⅱ部：「ビッグバンド第4弾」

最新ビッグバンドの384kHz/32bitマスター音源と同一楽曲アナログラッカー盤との比較試聴

講師：内沼 映二 日本音楽スタジオ協会名誉会長

- ③上期、東放学園音響専門学校・渋谷校舎スタジオに於いて、「第1回アナログレコード勉強会」を実施する。
- ④9月、「デジタル伝送勉強会」を予定する。
- ⑤11月15日（木）、幕張メッセに於いて開催される「Inter BEE 2018」に関し、賛助会員社ブースツアーを実施する。
- ⑥下期、ワーナーミュージック・マスタリングに於いて、「第2回アナログレコード勉強会」を実施する。
- ⑦下期、ラウドネス音量基準に関する勉強会を予定する。（MAスタジオ・エンジニアとの意見交換が可能であれば、Ⅰ部・Ⅱ部として実施）
- ⑧下期、レジェンド・エンジニアによる生録セミナー（第30回NHK技術交流会として検討）を予定する。

(2) エンジニアを対象とした機器メーカーによる新規開発技術及び新機器についての研修会

- ①賛助会員社との協議により、新機器発表時に随時説明会の開催に協力する。

(3) 資格認定制度の実施

- ①4月20日（金）、第17回JAPRS認定「サウンドレコーディング技術認定試験」の実施に対応した問題集／技術資料集を発行する。
- ②4月下旬、第15回JAPRS認定「Pro Tools技術認定試験」の告知ポスター、パンフレットを配布する。
- ③6月20日（水）、第15回JAPRS認定「Pro Tools技術認定試験」の実施に対応した問題集／技術資料集を発行する。
- ④7月8日（日）、第17回JAPRS認定「サウンドレコーディング技術認定試験」を実施する。
- ⑤9月9日（日）、第15回JAPRS認定「Pro Tools技術認定試験」を実施する。
- ⑥3月中旬、第18回JAPRS認定「サウンドレコーディング技術認定試験」の告知ポスター、パンフレットを配布する。
- ⑦3月20日（水）、JAPRS技術マニュアル「サウンドレコーディング技術概論・再改訂版」第4刷を発行する。

(4) 専門学校の学生を対象とした研修会

- ①6月10日（日）及び16日（土）、30日（土）、専門学校の学生を対象とし、正会員スタジオの協力によりプロのレコーディングスタジオにおけるセッション開始前のスタジオセットアップ及びミックスダウン時のアシスタントの役割を体験させることを目的とする「第19回新プロ・エンジニア養成セミナー」を東京及び大阪地区並びに名古屋地区に於いて実施する。
- ②5月12日（土）、専門学校学生を対象とし、JAPRS法人正会員、準会員、賛助会員企業の出展による就職支援説明会「JAPRS企業説明会」を東放学園音響専門学校・渋谷校舎に於いて実施する。
- ③2月23日（土）、王子・北とびあ 6Fドームホールに於いて、専門学校学生を対象とした「2019年新プロ・エンジニア研修会」を実施する。
- ④上記以外に各専門学校からの個別の要望による技術研修会等については、別途に対応を図り実施を検討する。

(5) 専門学校に於ける職業実践専門課程に関する教育課程編成への協力

- ①賛助会員専門学校のうち、文部科学省に申請を検討する専門学校及び申請許可を得た後の対策を図る専門学校については、継続して以下の各氏が教育課程編成委員として協力する。

仙台コミュニケーションアート専門学校	目等 進氏	個人正会員
専門学校デジタルアーツ仙台	〃	〃
国際アート&デザイン大学校	高田 英男氏	個人正会員
専門学校名古屋ビジュアルアーツ	深田 晃氏	個人正会員

4. 音楽録音事業に関する技術及び仕様の標準規格の調査及び策定

- (1) 音楽録音スタジオに於ける使用規程モデルの改定に伴う内容の徹底化
 - ①前期4月より配布した告知ポスター及びチラシに関しては、会員スタジオ内で掲示を継続するとともに、周知活動を強化する。
- (2) 音楽制作に係る関連三団体による制作環境の再構築と標準化
 - ①東京音楽事業者連盟及び一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNとともに設立した「レコーディング三者協議会」に於いて、音楽録音業務に係る様々な検討課題の整理・標準化を図るとともに、音楽文化の発展に向け、広報、交流活動を含めた活動を推進する。
 - ②6月21日(木)、めぐろパーシモンホール小ホールに於いて編曲家・萩田 光雄氏を主とする「第2回refトークセッション」を予定する。
- (3) 音響設計に関する基礎知識の標準化
 - ①JAPRS推奨「音楽録音スタジオにおける音響設計ガイドブック」第6刷及び第7刷の頒布を図る。
- (4) DVD-Videoの音声規格に関する標準化
 - ①平成21年9月に発行した「サウンドエンジニアのためのDVD-Video音声基礎講座」の頒布を図る。

5. 音楽録音事業に関する内外関連機関等との交流及び協力

- (1) 音楽制作関連団体との技術交流会の開催
 - ①下期、レジェンド・エンジニアによる生録セミナーを「第30回NHK技術交流会」として実施を予定する。
- (2) 音楽制作関連団体との情報交換を行う協議会等の開催
 - ①東京音楽事業者連盟、一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNとともに、音楽制作に関連する課題の解消を目的として設立したレコーディング三者協議会（略称：ref）に参画し、活動を推進する。
 - ②一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNとの業務提携契約書によるMPN BOXの活動を推進する。
 - ③平成27年8月より日本ミキサー協会（本年度より特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会に改称）との協議に基づき開始した事務局運営業務の受託については、今期以降も継続して業務を遂行する。
- (3) 関連団体が主催する表彰制度及び機器展への協力
 - ①一般社団法人日本オーディオ協会が主催し、6月16日(土)～17日(日)に有楽町・東京国際フォーラムに於いて開催する「OTOTEN」を後援する。
 - ②一般社団法人日本ポストプロダクション協会(JPPA)が主催し、編集技術者の質的向上を目的として映像・音響作品及び編集技術者を奨励し、表彰する「JPPA AWARDS 2018」を後援する。
 - ③一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が主催し、11月14日(水)～16日(金)に幕張メッセに於いて開催する第54回2018年国際放送機器展「Inter BEE 2018」に協力する。

6. 音楽録音事業に関する表彰制度の拡充

(1) 日本プロ音楽録音賞の実施

- ①特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会、一般社団法人日本オーディオ協会、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN、日本放送協会と運営委員会を組織することにより、「第25回日本プロ音楽録音賞」を実施し、12月6日(木)に授賞式を開催する。

7. 音楽録音事業に関する情報の収集及び提供

(1) 技術資料集の頒布

- ①4月20日(金)、2018年度版「サウンドレコーディング技術認定試験問題集／技術資料集」を発行する。
- ②6月20日(水)、2018年度版「Pro Tools技術認定試験問題集／技術資料集」を発行する。
- ③3月20日(水)、録音に関する協会技術マニュアル「サウンドレコーディング技術概論・再改訂版」の第4刷を発行する。

(2) インターネットの有効的な活用の推進

- ①JAPRSホームページからの新たな発信方法の強化を図るため、従来のデータベースを主とした内容からSNSへの対応を含め、タイムリーな情報発信方式に変更し、4月よりリニューアルする。
- ②JAPRSホームページ上に情報公開を行う。
- ③会報「JAPRS」のWeb化を継続し、定期的に内容を更新することにより、当協会が主催する各種技術セミナー等の詳細を公開する。
- ④資格認定制度の実施に伴い、技術認定試験案内及び受験申請者用メールフォームを開設し、利便性を図る。
- ⑤「第25回日本プロ音楽録音賞」の応募要項、ノミネート作品、受賞作品等に関する告知活動を強化する。

(3) 会報の発行

- ①会報「JAPRS」を、紙媒体により6月及び1月に発行する。

8. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 未加入音楽スタジオの入会促進

- ①会員募集を推進する。また賛助会員の募集も併せて行う。

(2) 本会の社会的認知を進めるための、音楽業界誌・雑誌等を利用した広報活動

- ①1月、株式会社oricon ME発行のコンフィデンス新年1号へ会長年頭挨拶を出稿する。

(3) 会員相互の交流会の実施

- ①6月8日(金)、通常総会後に、明治記念館に於いて会員の親睦、情報交換を目的として懇親会を実施する。
- ②8月1日(水)、賛助会員の親睦、情報交換を目的として賛助会員交流会を実施する。
- ③10月19日(金)、会員及び関連先との親睦を目的とした第30回JAPRSゴルフコンペを開催する。
- ④12月11日(火)、御茶ノ水ホテルジュラクに於いて、会員相互の情報交換と親睦を目的とした年末交歓会を開催する。
- ⑤1月24日(木)、明治記念館に於いて、会員及び関連団体を対象とした賀詞交歓会を開催する。

更に、本年度の事業目的遂行のため、次の諸官庁並びに諸団体と常に連絡協調を保持しつつ、業務

を推進する。

経済産業省 中小企業庁 文部科学省 文化庁 総務省 公正取引委員会
全国中小企業団体中央会(全国中央会) インディペンデント・レコード協会(IRMA) インディ
ペンデント・レコード製作事業者協会(IRIA) インディペンデント・レーベル協議会(ILC)
AES日本支部 演奏家権利処理合同機構MPN 音楽産業・文化振興財団(PROMIC) 電子
情報技術産業協会(JEITA) 日本音楽出版社協会(MPA) 日本音楽制作者連盟(FMPJ、音制
連) 音楽電子事業協会(AMEI) コンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS) 実演家
著作隣接権センター(CPRA) 私的録音補償金管理協会(sarah) コンサートプロモーターズ
協会(ACPC) 東京音楽事業者連盟(音事連) 特定ラジオマイク運用調整機構(特ラ機構)
日本エレクトロニクスショー協会 日本オーディオ協会(JAS) 日本音楽家ユニオン 日本
音楽事業者協会(JAME、音事協) 日本音楽著作権協会(JASRAC) 日本音響家協会(SEAS)
日本芸能実演家団体協議会(芸団協) 日本作編曲家協会(JCAA) 日本シンセサイザープロフ
ェSSIONナルアーツ(JSPA) 日本舞台音響家協会 日本舞台音響事業協同組合 日本放送
協会(NHK) 日本ポストプロダクション協会(JPPA) 日本レコーディングエンジニア協会
(JAREC) 日本民間放送連盟(民放連) 日本レコード協会(RIAJ) パブリック・イン・サー
ド(PIT) レコーディング・エンジニア・オブ・九州(REOK) レコーディング・ミュージシャ
ンズ・アソシエーション・オブ・ジャパン(RMAJ)

()内は、略称・通称